

第14回全国研究【神奈川】大会 特集号

目次

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 会長挨拶 | 2 |
| お知らせ | 3 |
| 第14回全国研究【神奈川】大会の開催案内(第2報) | |
| ・概要 | 5 |
| ・シンポジウム「人口減少時代の地域力創造と地域政策」 | 6 |
| ・分科会 | 7 |
| ①農業・農村 分科会 | |
| 「2014年度の低米価と水田農業政策変化が水田農業経営体にも与えた影響」 | |
| ②政治・行政 分科会 | |
| 「地方議会改革」 | |
| ③都市 分科会 | |
| 「人口減少時代の都市再生策 ―子育てと教育環境の課題を中心に―」 | |
| ④医療・福祉・行政 分科会 | |
| 「地域包括ケアシステムと地域福祉計画 ―地域のちからをどう考え、どう位置づけるか―」 | |
| ⑤地方創生と地域政策 分科会 | |
| 「人口減少社会における地域づくり」 | |
| ・個別報告 | 8 |
| 第1分科会「地域福祉」、第2分科会「経済・産業／交通」、 第3分科会「コミュニティ・NPO」、第4分科会「環境」、 第5分科会「政治・行政」、第6分科会「農業・農村／人材育成」、 第7分科会「地域活性化」、第8分科会「観光」 | |
| ・会場案内 | 10 |
| ・明治大学生田キャンパス構内図、お問い合わせ先 | 11 |

会長挨拶

日本地域政策学会長 大宮 登

日本地域政策学会・第14回全国研究【神奈川】大会が、7月11日、12日の2日間、「人口減少時代の地域力創造と地域政策」のテーマで、明治大学生田キャンパスで開催されます。人口減少時代に求められる地域政策の展望と課題について議論を深めたいと考えております。

1日目の一般公開シンポジウムでは、藻谷浩介氏（日本総合研究所主席研究員）、椎川忍氏（地域活性化センター理事長）、小田切徳美氏（明治大学農学部教授）が登壇します。また、2日間に渡って個人の研究発表や「農業・農村」、「政治・行政」、「都市」、「医療・福祉・行政」「地方創生と地域政策」の分科会で熱心な研究討議が展開されます。特に、2日目の「地方創生と地域政策」の分科会では、小田切徳美氏のコーディネーターにより、藤原豊氏（内閣府地方創生推進室次長）、高橋公氏（NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長）、中山泰氏（京丹後市長）、大宮透氏（慶應義塾大学SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター主任研究員）、井上貴至（鹿児島県長島町統括監）等を迎えてセッションを行います。皆様との熱いセッションを大いに期待します。

さて、私は昨年7月に本学会の第7代目の会長に着任しましたが、2年間の重点目標を以下のように掲げて活動しています。

- ① 重点課題1...組織改革による学会の活性化（各委員会活動の活性化と支部組織の設立）
- ② 重点課題2...研究の活性化のための学会賞の設立
- ③ 重点課題3...他団体との連携強化

これまでの経過としては、課題1では、委員会活動活性化の取り組みはかなり進んでいますが、支部組織の設立はこれからです。委員会の検討事項に関しては7月の理事会と総会に提案されます。皆さんとともに議論をしたいと思います。

課題2の学会賞の設立については企画委員会で何回も会議を行い、検討が進んでいます。本学会にふさわしい学会賞として原案を練り上げ、7月の理事会と総会に提案されます。これもまた、皆様のご意見をお聞きしてよりよいものに創り上げたいと思っています。

課題3の他団体との連携強化に関しては、模索中といえます。それぞれが、精一杯活動していて、あまり余裕がないのが現状です。どのような連携が可能かを継続して検討したいと思います。

こうした課題は、役員はもとより、会員の皆様の協力なくしては実現できません。これまで通り、あるいはこれまで以上に、皆様のご協力をお願いします。

最後になりましたが、まぢかに迫ってきた全国研究大会の準備に当たっている関係各位、そして年2回の機関誌の発刊に当たっている関係各位、このニューズレターの発刊に尽力していただいた関係各位に、特に感謝を申し上げ、会長の挨拶といたします。

《お知らせ》

●投稿規程の改訂（2015年7月11日施行）について

2015年7月11日以降の投稿につきましては、投稿者は本学会会員に限ります。

※筆頭者は正会員となってから投稿できます。

共著者が非会員の場合は、投稿時に入会手続きをし（仮入会）、

掲載時には正会員となっている必要があります。

●機関誌『日本地域政策研究』投稿原稿の募集について

機関誌『日本地域政策研究』は、年2回（9月・3月）の発刊です。

投稿原稿は随時募集しております。

「書評」にふさわしい書籍^(註)のご推薦も募集しております。

会員の皆さまの積極的なご投稿をお待ちしております。

(注) 編者または著者が本学会員の地域政策に関する研究業績

●各委員会メンバーについて

(敬称略)

| | | | |
|---------|------|--------|----------|
| 企画委員会 | 委員長 | 佐々木 茂 | 高崎経済大学 |
| | 副委員長 | 櫻井 常矢 | 高崎経済大学 |
| | 委員 | 小田切 徳美 | 明治大学 |
| 高橋 美佐 | | 高崎経済大学 | |
| 研究推進委員会 | 委員長 | 桑原 英明 | 中京大学 |
| | 副委員長 | 市島 宗典 | 中京大学 |
| | 委員 | 上崎 哉 | 近畿大学 |
| | | 水戸 克典 | 日本大学 |
| 編集委員会 | 委員長 | 増田 正 | 高崎経済大学 |
| | 副委員長 | 中村 匡克 | 高崎経済大学 |
| | 委員 | 新井 直樹 | 鳥取環境大学 |
| | | 案田 順子 | 高崎健康福祉大学 |
| | | 飯島 明宏 | 高崎経済大学 |
| | | 石川 和男 | 専修大学 |
| 石原 慎士 | | 石巻専修大学 | |

| | | | |
|-----------|------|--------|--------------|
| | | 大仲 克俊 | 岡山大学 |
| | | 片岡 美喜 | 高崎経済大学 |
| | | 黒川 基裕 | 高崎経済大学 |
| | | 高力 美由紀 | 宮城大学 |
| | | 佐藤 英人 | 高崎経済大学 |
| | | 柘植 隆宏 | 甲南大学 |
| | | 林 健一 | 中央学院大学 |
| | | 町田 修三 | 高崎健康福祉大学 |
| 広報委員会 | 委員長 | 竹本 田持 | 明治大学 |
| | 副委員長 | 佐藤 公俊 | 高崎経済大学 |
| | 委員 | 佐藤 真弓 | 明治大学 |
| | | 砂金 祐年 | 常磐大学 |
| 支部活動組織委員会 | 委員長 | 片亀 光 | 環境カウンセラーズぐんま |
| | 副委員長 | 渡邊 敏文 | 新潟医療福祉大学 |

●会員状況について

| | 入会 | 退会 | 終身会員 へ変更 | 正会員 | 賛助会員 | 終身会員 | 顧問 |
|----------------------------|----|----|-------------|-----|------|------|----|
| 2014年度総会 (2014年7月) | — | | | 426 | 2 | 4 | 3 |
| 2014年度第2回理事会 (2014年10月) | 12 | 13 | — | 425 | 2 | 4 | 3 |
| 2014年度第3回理事会 (2015年1月) | 6 | 6 | 1 | 424 | 2 | 5 | 3 |
| 2014年度第4回理事会 (2015年4月) | 6 | 4 | — | 426 | 2 | 5 | 3 |

日本地域政策学会

第14回全国研究【神奈川】大会の開催案内（第2報）

第14回全国研究【神奈川】大会実行委員長
竹本 田持（明治大学農学部）

日本地域政策学会・第14回全国研究【神奈川】大会は、大会メインテーマを「人口減少時代の地域力創造と地域政策」と設定し、明治大学生田キャンパス（神奈川県川崎市多摩区）において開催いたします。人口減少をめぐる議論が急な高まりを見せていますが、どのような手法によって活路を見出すべきなのか。政府の地方創生政策がまさに始まりつつあるこの時期に、地域再生に求められる地域政策の展望と課題について議論を深めたく考えております。

学会員以外の皆様も参加できるシンポジウムおよび分科会・個別報告、懇親会とも、地域政策や地域づくりに関心のある多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1 主催：日本地域政策学会

2 開催日：2015年7月11日（土）～12日（日）

3 会場：明治大学生田キャンパス A館および中央校舎
※7月12日（日）に学内で消防訓練が実施されます。実行委員会として学会開催には支障ないと判断いたしておりますが、学内での通行に際し一部迂回していただくなど参加者の皆様にご迷惑をおかけする可能性があります。ご理解いただければ幸いです。

4 参加費：3,000円（非会員の方は4,000円） ※当日会場にてお支払いください。

5 懇親会費：4,000円（同封の出席連絡票または事務局宛メールにて、6月26日（金）までに、予約申し込みをお願いいたします。）

6 日程：

<7月11日（土）>

9:30～ 受付開始 [A館2階ロビー]

10:00～12:30 分科会（①農業・農村、②政治・行政） [A館3階各教室]
個別報告 [A館3階各教室]

12:30～14:00 休憩（12:45～13:45 理事会：中央校舎4階0401教室）

14:00～17:30 シンポジウム [中央校舎6階メディアホール]

17:40～18:20 年次総会 [中央校舎6階メディアホール]

※総会成立のため、ご欠席の場合は、メールまたはFAXにて委任状のご提出をお願いいたします。（登録アドレスにメールを送付させていただいております。）

18:30～ 懇親会 [食堂館スクエア21 1階ラウンジ]

<7月12日（日）>

9:00～ 受付開始 [A館2階ロビー]

9:30～12:00 分科会（③都市、④医療・福祉・行政、
⑤地方創生と地域政策） [A館3階各教室]
個別報告 [A館3階各教室]

7 シンポジウム：「人口減少時代の地域力創造と地域政策」

<趣 旨>

シンポジウムのテーマは、大会メインテーマである「人口減少時代の地域力創造と地域政策」です。人口減少をめぐる議論が急な高まりを見せていますが、どのような理念や手法によって活路を見出すべきなのか。政府の地方創生政策がまさに始まっているこの時期に、地域再生に求められる地域政策の展望と課題について議論を深めたいと考えております。

人口減少と地域力創造に関する話題は、昨年の2014年5月に、日本創成会議の増田レポートが警告を発してから急速に高まりを見せました。2040年までに、20～39歳の若年女性が半減すると予想される896市町村を「消滅可能性都市」とした増田レポートを受けて、政府も間髪をいれずに、9月には第2次安倍改造内閣で石破地方創生担当大臣を誕生させ、「まち、ひと、しごと創生本部」を開設しました。そして、11月には「まち、ひと、しごと創生法」を制定し、12月には「まち・ひと・しごと創生法」に基づいた国の「長期ビジョン」及び「総合戦略」を決定しています。さらに、都道府県・市町村に対しても2015年4月から、地方版総合戦略と人口ビジョンの策定を義務付けています。

この間のスピードと熱意は評価しても良いと思われます。しかし、これからが本番であることも確かです。地方が本当に、地域再生のプランニングを地域にとって有効なものとして提案できるのか。これまでの施策の問題点として分析された「タテ（縦割り）、ヨコ（一律横並び）、セン（浅：施策が地域に浸透していない）、タン（短期的な思考）」が克服されるのか。多くの課題があります。

一般公開シンポジウムでは、「人口減少時代の地域力創造と地域政策」のテーマをめぐって、藻谷浩介氏（日本総合研究所主席研究員）、椎川忍氏（地域活性化センター理事長）、小田切徳美氏（明治大学農学部教授）をお呼びいたしました。会長の私がコーディネーターを務めます。

このテーマに関して、3氏から問題提起を受けて、休憩をはさんで、会場の皆さんと活発な意見交換をしたいと思っています。3氏とも、理論と実践を兼ね備えた論客ですので、興味深い議論が展開されると思われます。

このシンポジウムでは会場の皆さんとの意見交換の時間を多めにとりました。シンポジウムにおいて、意見交換の時間を増やしてほしいという、会員の皆様の要望に答えて企画しました。是非、積極的に意見交換にご参加していただいて、このテーマを皆さんと一緒に考えていきましょう。

<タイムライン（14:00～17:30）>

- ◆14:00～14:10 趣旨説明・基調報告者紹介 大宮 登（コーディネーター）
[日本地域政策学会長・高崎経済大学地域政策学部 教授]
- ◆14:10～14:50 第1報告 藻谷 浩介 氏 [(株)日本総合研究所 主席研究員]
「人口減少社会の現実を捉える—生産年齢人口と高齢者人口の絶対数の推移を軸に—」
- ◆14:50～15:30 第2報告 椎川 忍 氏 [(一財)地域活性化センター 理事長]
「人口減少問題に各地域はどのように対処すべきか？」
- ◆15:30～16:10 第3報告 小田切 徳美 氏 [明治大学農学部 教授]
「人口減少時代における地域再生—農山村からの示唆—」
- ◆16:10～16:20 休憩 質問・意見シートを回収し、確認します。
- ◆16:20～17:30 会場との意見交換セッション

8 分科会について： 分科会は下記の流れで行います。

分 科 会 (1日目)

2015年 7月 11日(土) 10:00~12:30

①農業・農村 分科会

A館 A 302

2014年の低米価と水田農業政策変化が水田農業経営体にも与えた影響

小林 元 (広島大学)
大仲 克俊 (岡山大学)

| | | | |
|------|-----------------------------|-------|------------|
| 第一報告 | 水田政策の変化と米価下落が水田農業経営体にも与えた影響 | 大仲 克俊 | 岡山大学 |
| 第二報告 | つがる平野における水田農業の構造と担い手の現状 | 吉仲 怜 | 弘前大学 |
| 第三報告 | 低米価と水田政策変化における大規模水田経営の展開方向 | 大岸 修一 | (株)アグリとくみつ |

座長： 小林 元(広島大学)

コメント： 渡部 岳陽(秋田県立大学)

総括： 小林 元(広島大学)、大仲克俊(岡山大学)

企画： 大仲 克俊(岡山大学)

②政治・行政 分科会

A館 A 303

地方議会改革

桑原 英明(中京大学)
井川 博 (政策研究大学院大学)

| | | | |
|------|-----------------------------------------------------|-------|---------|
| 第一報告 | 中核市・特例市議会における政策課題と地方議会改革 —北関東主要市議会を対象として— | 増田 正 | 高崎経済大学 |
| 第二報告 | 2015年統一地方選挙で地方議会改革は争点となったのか？ —政令指定都市・名古屋市を事例として— | 桑原 英明 | 中京大学 |
| 第三報告 | 宮城県における県議会改革の動向について | 藤原 範典 | 宮城県議会議員 |

司会： 井川 博(政策研究大学院大学)

討論： 上崎 哉(近畿大学)、水戸克典(日本大学)、丹羽 功(近畿大学)

企画： 井川 博(政策研究大学院大学)、増田 正(高崎経済大学)

分 科 会 (2日目)

2015年 7月 12日(日) 9:30~12:00

③都市 分科会

A館 A 301

人口減少時代の都市再生策 —子育てと教育環境の課題を中心に—

山下 博樹(鳥取大学)

| | | | |
|------|---------------------------------------------|-------|--------|
| 第一報告 | 仕事と家庭の両立を目指した在宅ワークの現状と課題 —東京圏の既婚女性に着目して— | 佐藤 英人 | 高崎経済大学 |
| 第二報告 | 人口減少に伴う公立学校再編と都市政策の関係 | 三橋 浩志 | 文部科学省 |

座長： 山下 博樹(鳥取大学)

討論： 新保 正夫(前橋市役所)

コメント： 戸所 隆(高崎経済大学名誉教授)

総括・企画： 山下 博樹(鳥取大学)

④医療・福祉・行政 分科会

A館 A 302

地域包括ケアシステムと地域福祉計画 —地域のちからをどう考え、どう位置づけるか—

渡邊 敏文(新潟医療福祉大学)

| | | | |
|------|----------------------|-------|-------------------|
| 第一報告 | 地域に根ざす児童館の役割と課題 | 佐野 真一 | 東京都港区立麻布子ども中高生プラザ |
| 第二報告 | 市民とともに進める地域福祉のシステム形成 | 竹内 武 | 茅野市役所 |
| 第三報告 | 地域包括ケアシステムと地域福祉計画 | 西村 正広 | 愛知大学 |

座長： 熊澤 利和(高崎経済大学)

討論： 佐野真一(東京都港区立麻布子ども中高生プラザ)、竹内 武(茅野市役所)、西村正広(愛知大学)、

熊澤利和(高崎経済大学)、青木 茂(新潟医療福祉大学)、丸田秋男(新潟医療福祉大学)、渡邊敏文(新潟医療福祉大学)

コメント： 青木茂(新潟医療福祉大学)

総括・企画： 渡邊 敏文(新潟医療福祉大学)

⑤地方創生と地域政策 分科会

A館 A 303

人口減少社会における地域づくり

竹本 田持 (明治大学)
小田切 徳美 (明治大学)

| | | | |
|------|-----------------------------|------|----------------------|
| 第一報告 | 地方創生に向けた国の諸施策 (仮題) | 藤原 豊 | 内閣府地方創生推進室次長 |
| 第二報告 | 田園回帰の予兆…何が起きているのか？ (仮題) | 高橋 公 | NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長 |
| 第三報告 | 京丹後市の挑戦…地方創生の成功モデルになる！ (仮題) | 中山 泰 | 京丹後市長 |
| 第四報告 | 小布施町の挑戦…若者を引き寄せるまち小布施(仮題) | 大宮 透 | 慶應義塾大学小布施町研究員 |

座長： 小田切 徳美(明治大学)

討論： 井上 貴至(鹿児島県長島町統括監・総務省)

コメント： 竹本 田持(明治大学)

9 個別報告について： 個別報告は下記の流れで行います。

個別報告（1日目）

2015年7月11日(土) 10:00~12:30

第1部会 地域福祉

A館 A 304

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|-------------|------------------------------------------|---------------------------------------|-------|-----------|
| 10:00~10:30 | 熊澤 利和 (高崎経済大学) 西村 正広 (愛知大学) | 地域中小・小規模事業者の障害者雇用 | 川上 憲繁 | 横浜市立大学大学院 |
| 10:30~11:00 | | 地域包括ケアシステムの課題と今後の展望 —行政と地域住民の関係性を中心に— | 筑後 一郎 | 川崎医療福祉大学 |
| 11:00~11:30 | | 地域高齢者の食生活支援のための摂食・嚥下障害と食生活の調査 | 萩原 潤 | 宮城大学 |
| 11:30~12:00 | | 群馬県太田市ファミリー・サポート・センターの子育て支援と食育活動 | 中山 優子 | 桐生大学 |
| 12:00~12:30 | | 中山間地域における買い物支援のあり方に関する考察 | 倉持 裕彌 | 鳥取環境大学 |

第2部会 経済・産業/交通

A館 A 305

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|-------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------|------------|
| 10:00~10:30 | 佐々木 茂 (高崎経済大学) 新保 正夫 (前橋市役所) | 地域経済発展と資金循環～米国統治下沖縄の資金循環構造の変化～ | 中村 研二 | (株)日本経済研究所 |
| 10:30~11:00 | | 震災復興における地域密着型金融の現状と課題 —「全国中小・地域金融機関経営指標データベース」構築の取組みから— | 青木 孝弘 | 会津大学短期大学部 |
| 11:00~11:30 | | 地域イノベーションの創出における知識ストックとスピルオーバーの効果に関する計量分析 | 佐藤 充 | 法政大学大学院 |
| 11:30~12:00 | | 中山間地域における社会福祉協議会が主体となった生活交通の確保 | 松田 善臣 | 島根県立大学 |
| 12:00~12:30 | | 交通系ICカードを通じた公共交通と地域の活性化 | 齋藤 巴 | 高崎経済大学大学院 |

第3部会 コミュニティ・NPO

A館 A 306

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|-------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------|
| 10:00~10:30 | 伊藤 亜都子 (神戸学院大学) 櫻井 常矢 (高崎経済大学) | コミュニティ財団が地域社会の課題解決に果たす役割 | 水谷 衣里 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) ／東京工科大学 |
| 10:30~11:00 | | 新潟市における地域コミュニティ協議会の形成過程に関する一考察 ～旧豊栄市政における地域福祉推進の取り組みを中心として～ | 青木 茂 | 新潟医療福祉大学 |
| 11:00~11:30 | | 地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティの役割に関する予備的研究 | 渡邊 敏文 | 新潟医療福祉大学 |
| 11:30~12:00 | | 宮崎市の地域における包括支援の現状と課題 | 辻 利則 | 宮崎公立大学 |
| 12:00~12:30 | | 災害に備えた地域づくりの方向—長野県北部地震(長野県神城断層地震)と白馬村での震災対応から— | 古平 浩 | 追手門学院大学 |

第4部会 環境

A館 A 310

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|-------------|------------------------|----------------------------------------------|-------|-----------------|
| 10:00~10:30 | 片亀 光 (環境カウンセラーズぐんま) | 水循環健全化対策の特徴と自治体政策への位置づけ—対策・計画の実効性向上に向けて— | 林 健一 | 中央学院大学社会システム研究所 |
| 10:30~11:00 | | 都市鉱山政策としての自動車リサイクル制度の意義と課題—自動車電装品とバッテリーを事例に— | 劉 庭秀 | 東北大学 |
| 11:00~11:30 | | 小型家電リサイクル制度運用の課題分析—実施自治体と認定事業者の実態調査を中心に— | 齋藤 優子 | 日本学術振興会/東北大学 |
| 11:30 終了 | | | | |

個別報告 (2日目)

2015年7月12日(日) 9:30~12:00

第5部会 政治・行政

A館 A 304

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|--------------|---------------------------------------------|-------------------------------|---------|-----------------------------|
| 9:30~10:00 | 井川 博 (政策研究大学院大学) 岩崎 忠 (高崎経済大学) | 経営と行政の論理 ~食品地域ブランド化の事例から | 北島 啓嗣 | 福井県立大学 |
| 10:00~ 10:30 | | 政策モデルの模倣と地域性 | 石川 和男 | 専修大学 |
| 10:30~11:00 | | 中核市・特例市昇格における行政的評価と検討課題に関する研究 | 爲我井 慎之介 | 高崎経済大学大学院 |
| 11:00~11:30 | | 基礎自治体における避難行動要支援者対策の行政と地域間の課題 | 陸川 貴之 | 関西大学大学院/ アビームコンサルティング(株) |
| 11:30~12:00 | | 地方議会改革と地域活性 | 本田 正美 | 東京大学大学院情報学環 |

第6部会 農業・農村/人材育成

A館 A 305

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|--------------|----------------------------------------------|---------------------------------------|-------|------------|
| 9:30~10:00 | 大仲 克俊 (岡山大学) 小柴 有理江 (農林水産政策研究所) | JA地域営農ビジョン策定の特徴と今後の課題—秋田県内の農協の取り組みから— | 渡部 岳陽 | 秋田県立大学 |
| 10:00~ 10:30 | | 森林セラピー事業の展開による農山村再生の可能性にかかる考察 | 細野 宏 | 公立鳥取環境大学 |
| 10:30~11:00 | | 農業・農村の6次産業化を担う人材に求められる能力要件 | 市村 雅俊 | (一社)公立大学協会 |
| 11:00~11:30 | | 非農学部学生による農山村・農林業体験活動の動向と影響 | 田中 淳志 | 農林水産政策研究所 |
| 11:30 終了 | | | | |

第7部会 地域活性化

A館 A 306

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|--------------|------------------------------------------|-------------------------------------------|-------|-------------------------------|
| 9:30~10:00 | 池田 幸應 (金沢星稜大学) 鈴木 孝男 (宮城大学) | 「公益学」における「地域活性化」研究の動向と課題—「地域活性化」研究の新たな地平— | 小野 英一 | 東北公益文科大学大学院 |
| 10:00~ 10:30 | | 地域活性化における地域メディアの意義と課題 | 藤本 理弘 | 高崎商科大学 |
| 10:30~11:00 | | コミュニティFMの現状と類型に関する一考察 | 石川 真弓 | 高崎経済大学大学院 |
| 11:00~11:30 | | 地方自治体のコンテンツ作品制作に基づく地域活性化 | 軍司 聖詞 | 早稲田大学地域・地域間研究機構 人間総合研究センター |
| 11:30~12:00 | | 地域創生に向けた市民参画の新たな展開—水俣フューチャーセッションの試み | 岩橋 浩文 | 環境省国立水俣病総合研究センター |

第8部会 観光

A館 A 310

| 時間 | 司会 | テーマ | 発表者 | 所属 |
|--------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|--------|---------------|
| 9:30~10:00 | 片岡 美喜 (高崎経済大学) 林 秀司 (島根県立大学) | 世界遺産・富岡製糸場見学者の観光動向と蚕糸絹文化振興に向けての課題 | 石関 正典 | 高崎経済大学大学院 |
| 10:00~ 10:30 | | 産業観光による地域活性化の可能性 —長野県の事例分析より— | 那須野 育大 | 中央大学政策文化総合研究所 |
| 10:30~11:00 | | 地方経済圏のインバウンド旅行者によるグリーンツーリズムの可能性 | 若林 憲子 | 高崎経済大学地域科学研究所 |
| 11:00~11:30 | | 都市型エコツーリズムと地域メディア:生活者による地域資源の観光対象化プロセスに関する考察 | 中島 智 | 東京立正短期大学 |
| 11:30~12:00 | | 温泉を起点とした観光振興 | 久保田 典男 | 島根県立大学 |

10 会場案内：

明治大学生田キャンパスA館および中央校舎
(神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1)

<アクセス>

- 小田急線「生田駅」(準急・区間準急・各駅停車のみ停車)下車南口徒歩約10分
- 小田急線「向ヶ丘遊園駅」(快速急行・多摩急行を除く、急行・準急・区間準急・各駅停車が停車)北口下車→小田急バス「明大正門前」行で終点(乗車約15分)

※バスの時刻は以下のホームページをご覧ください(概ね30分に1本)。

<http://www.odakyubus.co.jp/regular/timetable/stop-486/dia-388-0/>

※向ヶ丘遊園駅北口からタクシーだと7~8分で到着します(概ね初乗り料金)。

生田駅からのタクシーは逆に不便です。

<最寄駅からキャンパスまで>

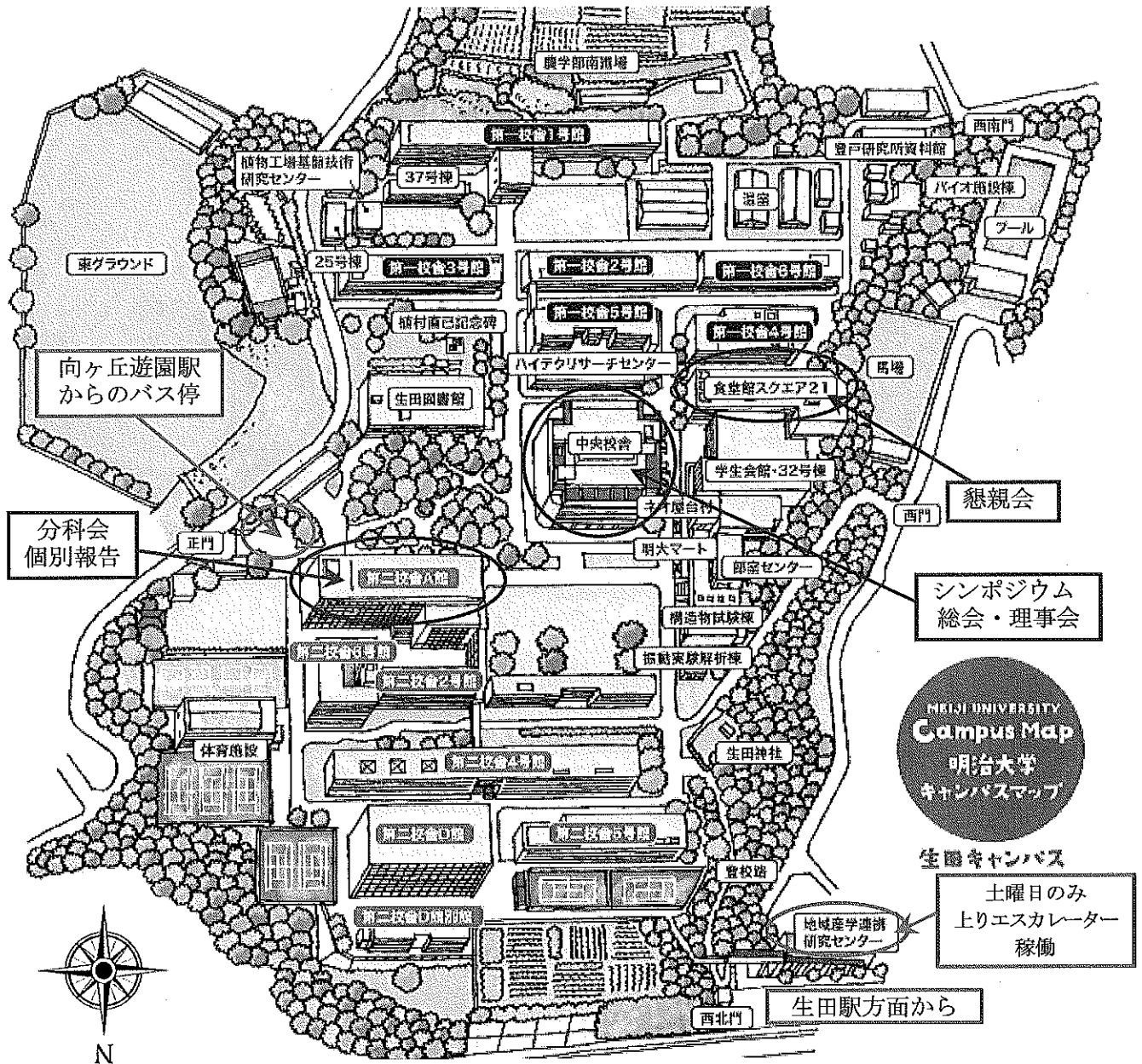


※急坂があります

(土曜日のみ「地域産学連携研究センター」の上りエスカレーター稼働)。

※車椅子ご利用の方や足のご不自由な方は、事前に開催校事務局へお問い合わせ下さい。

<明治大学生田キャンパス構内図>



※方位が前ページ掲載の<最寄駅からキャンパスまで>と逆ですのでご注意ください(上が南)。

11 お問い合わせ先

大会実行委員会 (開催校) 事務局

明治大学農学部食料環境政策学科 橋口 卓也
〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1
明治大学農学部
TEL&FAX : 044-934-7121 (研究室)
E-mail : hashiguchi.takuya@nifty.com

日本地域政策学会事務局 (高崎経済大学内)

TEL : 027-344-6294 FAX : 027-343-7103
E-mail : ncs-gakkai@tcue.ac.jp (※懇親会出席連絡票送信先)